

ESD-J 会員のみなさま

2024年1月15日～19日にかけてスイスのダボスで世界経済フォーラム第54回年次総会が開かれました。この会議では、分断された世界における信頼を再構築するための連携（collaboration）の力が探求されました。

<https://jp.weforum.org/events/world-economic-forum-annual-meeting-2024/>

この会議（ダボス会議）には、125カ国以上から政府、企業、市民社会関係の3,000人近いリーダーが参加しました。350人の国家元首、政府首脳、閣僚、国際機関のトップ、中央銀行、ビジネスリーダー、大学、若いリーダーが参加し、対話とパートナーシップを促進するためのセッションが開かれました。会議では、信頼、協力、安全が重要な優先事項として浮上しました。世界の首脳は、参加者に対し、信頼を再構築し、地球規模の課題に取り組むために協力するよう呼びかけました。フォーラムのセッションやワークショップでは、強靭性と安全保障の向上、経済成長の復活、気候と自然の保護という目標を掲げた50以上のインパクトのあるイニシアチブが出現または進展しました。

信頼の再構築

会議では、信頼を再構築するための4つの主要テーマ、すなわち、①分断された世界における安全保障と協力、②新時代の成長と雇用の創出、③経済と社会を牽引する人工知能（AI）、④気候、自然、エネルギーの長期戦略が取り上げられました。世界経済フォーラム（WEF）創設者のクラウス・シュワブ氏は、ポジティブな影響を生み出すための共通点を見つけるというフォーラムの目的を強調しました。欧州委員会のウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長は、偽情報と二極化のリスクを強調し、これまで以上に官民のプレイヤー間のグローバルな協力を深めるよう呼びかけました。

不確実な時代を見据えた新たな成長モデルの構築

最近のWEFグローバルリスク報告書（ML No.47参照）は、気候変動、紛争、経済の不確実性、技術の進歩など、今後10年間の潜在的なリスクを強

調しています。この不確実な経済環境の中で、ダボス会議の参加者は、これらの課題に対処するための新しい成長モデルを求めました。成長と生産性の原動力と、イノベーション、インクルージョン、持続可能性、レジリエンスの複雑さとのバランスを取る必要性が優先事項と見なされました。これは、経済、テクノロジー、環境への投資と、雇用、スキル、健康などの人材への投資、そして公平な機会をマッチングさせることを意味します。BNPパリバ証券株式会社によるマーケットツ360（戦略と経済学への根本的な新しいアプローチにより、エビデンスに基づく研究とソートリーダーシップに焦点を当てた高品質のビューを提供）の専門家は、2024年に経済が着地すると予想していますが、その程度は依然として不確実です。マーケットツ360の責任者兼チーフエコノミストのルイジ・スペランツァ氏は「急激な金融引き締めと一世代に一度のショックの巻き戻しを受けて、引き続き経済の減速があると考えています。しかし、インフレ率の低下傾向が明らかであるとみられるため、主要中央銀行はそう遠くない将来に利下げを開始するのに十分な自信を持っている可能性が高く、この経済の減速が困難なものになるリスクは低下しています。

より緊密な国際協力の促進

フォーラムの新しいグローバル協力バロメーター2024は、①貿易と資本、②イノベーションとテクノロジー、③気候と自然資本、④健康とウェルネス、⑤平和と安全保障というグローバルなつながりの5つの側面に注目し、過去10年間の大部分で強靭な国際協力を示しました。これは特に貿易と資本、イノベーションと技術、気候と自然資本に当てはまりますが、平和と安全に関する協力は急激に低下しています。このフォーラムは、貿易を促進する新たなイニシアチブを発展させ、貿易大臣が持続可能な成長のための共通のアジェンダに合意する機会を提供しました。分断化と地政学的な不安定化が進む中、貿易の支援と資金調達がかこれまで以上に重要になります。

人工知能が話題を独占

ジェネレーティブ AI は、今年の会議の話題を独占しました。参加者は、これらのテクノロジーが生産性の向上を促進し、今後のイノベーションを促進する機会を指摘しました。あらゆるセクターの企業が AI をビジネスに組み込む方法を模索しています。フランスの GenAI スタートアップ企業 Mistral は、ジェネレーティブ AI とその応用の可能性を明確に示しました。このスタートアップは、透明性の高いオープン・ウェイト・モデルアプローチを採用しているため、顧客はモデルを簡単にカスタマイズでき、顧客データを施設外に持ち出すことなく、自社の施設に自己展開することができます。専門家は、ジェネレーティブ AI は、まだ始まったばかりの革命において、大きなばらつきはあるものの、すべての産業に影響を与えると予想しています。BNPパリバ・マーケッツ 360 のアナリストは、AI 全体がもたらす大きな影響を次のように見えています。

- 利益の分配が不均等で、先進国が AI を主導する立場に立っている。
- 年間最大1ポイントのインフレ率低下の可能性がある。

政治家やビジネスリーダーは、これらの複数の機会と、セキュリティ、プライバシー、インクルー

ジョンに関する懸念のバランスを取る必要性について議論しました。例えば、EU では、AI 法は、責任あるイノベーションを確保し、ガードレールを設定し、リスクの高い使用を規制すると同時に、企業がイノベーションを起こす余地を確保することを目指しています。

気候・自然・エネルギー

WEF のグローバルリスク報告書は、気候リスクが長期的には引き続き最重要課題であることを明確に示しています。官民双方からの投資と協力は、エネルギー転換を支援するために極めて重要です。そのためには、金融機関や政府全体で資本を動員し、ネットゼロへの移行を段階的に進める必要があります。自然、生物多様性、水が今後の重要な関心事であることから、この会議では、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)から昨年9月に公表された TNFD 提言に基づき、46カ国以上から 320 の組織が自然関連の開示を開始することを約束したと発表されました。

会議期間中に発展し、進展したイニシアチブは、食品やプラスチックから気候変動に関するスコープ 3、モビリティ、人間の健康まで、さまざまな分野をカバーしていました。

World Economic Forum:
<http://www.weforum.org/>